

■開催件数による国際会議ランキング※1の実績

	ICCA(国際会議協会) 国際会議統計(2025年5月公表) ＜ ＞は、2023年実績		JNTO(日本政府観光局) 国際会議統計(2024年12月公表)※3 ＜ ＞は、2022年実績
	2024年実績(31件)＜21件＞	指標【第1期】※2	2023年実績(51件)＜21件＞
アジア・大洋州地域	16位相当＜22位相当＞	10位以内	—
世界	82位相当＜111位相当＞	30位以内	—
国内	3位相当＜3位相当＞	—	8位相当＜7位相当＞

※1 件数は大阪府域の開催件数を各ランキングに当てはめたもの
※2 誘致戦略では、取組期間(10年)を第1期(2023～2027年度)、第2期(2028～2032年度)に分け、各期で指標を設定
※3 JNTOの統計の2024年実績は2025年12月頃に公表の見込

■取組みの状況(主な取組み実績)

大阪府・大阪市は、大阪観光局やMICE関連事業者などMICE誘致に係る関係機関とともに取組みを実施。

戦略で掲げる「具体的な施策展開」項目	取組み内容	
①MICE誘致・開催支援の強化	「万博を契機としたOSAKA国際会議助成金」による支援	大阪府・大阪市による国際会議の誘致・開催経費の助成(6件)
②情報発信・誘致プロモーションの強化	「Japan MICE EXPO 2024」の開催(10月)	MICEの情報・サービスを一堂に集めた展示会の開催(会場:インテックス大阪)
	「使いやすいサステナビリティガイドブック」策定(9月)	大阪観光局ほか業界6団体によるMICEのサステナブル運営の指針となるガイドブック
	2025年日本国際博覧会「国際参加者会議」でのPR	奈良市(6月)、姫路市(1月)で開催された会議に出展
	ユニークベニュー情報の拡充	「ユニークベニュー大阪ガイド」の改訂(新規5件追加)
③MICE施設の競争力強化	MICE施設のリニューアルオープン	ATCホール(12月)
④マーケティング・リサーチ機能の強化	「大阪MICE誘致戦略委員会」の設立(8月)	「Team OSAKA MICE」に経済団体も加わり体制を強化
⑤エリアMICEによる受入れ環境整備、施設連携の強化	「大阪ベイエリアMICE」包括的連携協定締結(5月)	大阪ベイエリア(南港)の4施設が参加し国際会議等の誘致の取組みを強化
	「大阪MICEビジネス・アライアンスセミナー」の開催	MICE関連事業者のネットワーク構築を目的として開催(1回)
⑥アフターMICEの充実	MICE主催者への開催支援メニューの拡充	「大阪MICEカタログ」の全面リニューアル
⑦MICE人材の確保・育成	「大阪MICEアカデミー」の開催	MICE人材の育成を目的として開催(5回)
⑧MICE効果の地域への波及、還元	「IGLTA世界総会 2024」開催にあわせた周知・啓発	会場周辺施設でのウェルカムバナー掲出など開催機運醸成の取組みを実施
	MICE開催地周辺店舗の利用促進	DMO大阪梅田による「UMEDA INNOVATION WEEKS」参加者向け優待キャンペーン

■実績を踏まえた施策展開

指標の達成に向け、新たな支援制度の開始や万博開催の機会を活用したプロモーションなどの施策を展開していく。

- 他都市との競争に打ち勝つため、誘致戦略の取組期間に基づく長期的な視点に立った新たな支援制度を開始する。
- 大阪MICE誘致戦略委員会による案件発掘や誘致活動など、万博開催後を見据えた積極的なプロモーション活動に取り組む。